

## 北海道サービス管理責任者基礎研修・児童発達支援管理責任者基礎研修 シラバス

研修全体として、次の意思決定支援の推進の考え方を盛り込む

- ・障がい者が希望する生活を実現するためにサービスの質の向上を図るとともに、障がい者本人の意思を尊重し、選択の機会を確保するためには意思決定支援が必要であることを理解する。
- ・サービス担当者会議及び個別支援会議について、本人の心身の状況等によりやむを得ない場合を除き障害者本人の参加を原則とし、会議において本人の意向等を確認することが定められたことを踏まえ、意思決定支援の視点や手法について理解する。

### 【事前講義日程】

	時 間	内 容
eラーニング	80分	サービス提供〔支援提供〕の基本
	90分	サービス提供〔支援提供〕における利用者主体のアセスメント

### 【演習日程（一部講義含む）】

	時 間	内 容
1日目	13:15～14:35	インテーク演習
	14:45～16:15	アセスメント演習
	16:25～17:50	プランニング演習①
2日目	9:30～10:45	プランニング演習②
	10:55～12:10	モニタリング演習①
	12:10～13:00	(お昼休み)
	13:00～14:35	モニタリング演習②
	14:45～15:55	プランニング演習③

### 【事後講義日程】

	時 間	内 容
eラーニング	100分	演習の振り返り①
	60分	演習の振り返り②

※上記の詳細及び時間割は、変更となる場合があります。

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【事前講義日程】 サービス提供〔支援提供〕の基本
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義①サービス提供〔支援提供〕の基本的な考え方 講義②サービス提供〔支援提供〕のプロセス 講義③サービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕と個別支援計画の関係
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	80分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービス提供〔支援提供〕の基本理念を理解する</li> <li>・ サービス提供の一連のプロセスを理解する</li> <li>・ チーム支援や連携の必要性について理解する</li> <li>・ サービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕と相談支援専門員の連携と、サービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕と個別支援計画の連動性について理解をする</li> </ul>
○	8 教科の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がい福祉サービス提供において前提となる基本的な考え方の重要なキーワード（「本人中心」について「社会モデル」「エンパワーメント」「ストレングス」）を説明</li> <li>・ サービス提供プロセスの一連の流れ（インテーク、アセスメント、個別支援計画の原案作成、合意形成・会議の実施・合意形成、計画の実行、モニタリング）について説明</li> <li>・ サービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕と個別支援計画、相談支援専門員と、サービス管理責任者・児童発達支援責任者の関係について説明</li> </ul>
○	9 授業方法	講義及び理解度テスト（eラーニング）
○	10 授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がい福祉の基本理念の理解（20分）</li> <li>・ サービス提供〔支援提供〕プロセスの理解（25分）理解度テスト（5分）</li> <li>・ サービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕と個別支援計画、相談支援専門員とサービス管理責任者・児童発達支援責任者の関係についての理解（25分）理解度テスト（5分）</li> </ul>
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』（中央法規）
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【事前講義日程】 サービス提供〔支援提供〕における利用者主体の アセスメント
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義④サービス提供〔支援提供〕における 利用者主体のアセスメント
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	明河さち、金子志、河内哲也、木田祥平、佐々木浩治、 佐藤忠峰、佐藤直樹、林範行、日置真世、増井滋美
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・障害福祉サービスの分野を問わず、その概要について理解する ・サービスごとのアセスメントのポイントを理解することができる ・分野やサービスによる違いとともに、普遍性について理解する
○	8 教科の概要	主なサービスの種類や分野別の事業の概要、利用者主体のアセスメントのための姿勢などについて、各分野の講師から経験的な講義を聞きます。講義を通じて、障害種別や各ライフステージ、各サービス〔児童発達支援〕において留意すべき視点について理解します。
○	9 授業方法	講義及び理解度テスト（eラーニング）
○	10 授業計画	・全体説明（10分） ・介護分野の講義（20分） 理解度テスト ・生活支援分野の講義（20分） 理解度テスト ・就労分野の講義（20分） 理解度テスト ・児童分野の講義（20分） 理解度テスト
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』 （中央法規）
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【演習日程】 インテーク演習
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	演習①個別支援計画の作成 講義①サービス提供〔支援提供〕の基本的な考え方 講義②サービス提供〔支援提供〕のプロセス 講義③サービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕と個別支援計画の関係
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	80分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例に即して、サービス利用開始のプロセスを理解できる</li> <li>・事例に即して、サービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕の意味や役割、サービス利用に活用につなげることが理解できる</li> <li>・サービス担当者会議を理解できる</li> <li>・初めての個別支援計画作成のためにニーズに迫るアセスメントの視点を理解することができる</li> </ul>
○	8 教科の概要	事例を通じて、サービス提供が開始する際のプロセス、特に相談支援専門員との連携、サービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕の意義を理解し、サービス提供〔支援提供〕につなげることの理解を深め、インテークの役割やポイント、ニーズアセスメントをするための姿勢や方法について体験的に学びます。
○	9 授業方法	演習と講義
○	10 授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ自己紹介（20分）</li> <li>・サービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕の解説（20分）</li> <li>・サービス担当者会議の解説（25分）</li> <li>・サービス利用開始に関するグループワーク（15分）</li> </ul>
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』（中央法規）
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【演習日程】 プランニング演習①
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	演習①個別支援計画の作成 講義⑤個別支援計画作成のポイントと作成手順
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	85分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別支援計画作成の基本的な考え方に沿って、必要な項目の書き出し、全体のデザインができる</li> <li>・ 必要な情報を収集整理しながら、個別支援計画作成につなげることができる</li> <li>・ 他者と連携・協働して当事者やニーズの理解を深めることができる</li> </ul>
○	8 教科の概要	<p>個別支援計画が単なる書式作成ではなく、本人のニーズや課題をとらえた支援のための共通基盤となることを意識し、必要な情報を整理します。</p> <p>他者の意見を聞く、自分の視点を伝えることを通じて、効果的な議論や多様な視点を取り入れて個別支援計画の土台を完成させていくプロセスを体験します。</p> <p>また、ニーズやアセスメントを深めるやりとりを行います。</p>
○	9 授業方法	演習と講義
○	10 授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別支援計画の解説とグループ作成（55分）</li> <li>・ 計画作成のグループワーク（30分）</li> </ul>
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』（中央法規）
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【演習日程】 アセスメント演習
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	演習①個別支援計画の作成 講義①サービス提供〔支援提供〕の基本的な考え方 講義⑤個別支援計画作成のポイントと作成手順
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スtrenグスモデルのアセスメントを理解する。</li> <li>・ グループワークを通じて、サービス提供〔支援提供〕に必要なニーズアセスメントの視点を理解する</li> <li>・ 個別支援計画作成に必要な情報の整理をして、計画の土台をつくることができる</li> </ul>
○	8 教科の概要	グループ討議と個人作業を組み合わせながら、ストレングスシートの作成を通じて、ニーズアセスメントを学びます。また、ニーズを整理し、個別支援計画作成につなげるためのプロセスを体感します。アセスメントにおいては、相談支援専門員や本人と協働する視点についても体験的に理解します。
○	9 授業方法	演習と講義
○	10 授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スtrenグスシート作成の講義と演習（30分）</li> <li>・ 個別支援計画作成準備の講義と個人ワーク（25分）</li> <li>・ 個別支援計画作成準備のグループワーク（35分）</li> </ul>
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』（中央法規）
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【演習日程】 プランニング演習②
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	演習①個別支援計画の作成 講義②サービス提供〔支援提供〕のプロセス
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	75分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童期のニーズと支援内容と成人期のニーズと支援内容の連動性を理解し、相互理解を図ることができる</li> <li>・ 複数の個別支援計画の土台を通じて、ニーズアセスメントの理論の普遍性に気づく</li> <li>・ 本人への説明と同意の意義や方法について理解する</li> </ul>
○	8 教科の概要	<p>同じ事例において、幼児期と成人期の計画土台を報告し、意見交換をすることにより、それぞれの見立ての違いや支援方法の違いを知ると同時に、双方に共通する普遍性について理解を深めます。</p> <p>本人への説明と同意の場面を見ることにより、本人中心の必要性と重要性について感じ取り、方法を具体的に知ることができます。</p>
○	9 授業方法	演習と講義
○	10 授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別支援計画の土台のグループ発表と意見交換（45分）</li> <li>・ 本人への説明と同意場面の共有（30分）</li> </ul>
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』（中央法規）
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【演習日程】 モニタリング演習①
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	演習②個別支援計画の実施状況の把握（モニタリング） 及び記録方法 講義①サービス提供〔支援提供〕の基本的な考え方 講義③サービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕 と個別支援計画の関係
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	75分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングに必要な視点や方法について理解し、モニタリングのための情報収集のポイントを理解することができる</li> <li>・本人の存在と意思や希望を意識、理解したうえで、モニタリングを進める重要性を理解する</li> <li>・自らのモニタリング視点を説明し、他者のモニタリング視点を聞くことで、モニタリングの質を吟味することができる</li> </ul>
○	8 教科の概要	自分たちが想定したアセスメント及び支援方法の妥当性を確かめるための質問をグループで検討します。 オープンスタイルで、各グループから本人と事例提供者に検討した質問を投げかけ、回答を得ることで自らの見立てや支援方法を検証していきます。 ほかのグループの質疑を見ることにより、見立てや支援の幅を広げていくと同時に、計画作成とモニタリングの理解を深めます。
○	9 授業方法	演習と講義
○	10 授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング準備演習（35分）</li> <li>・質疑応答によるモニタリング演習（40分）</li> </ul>
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』（中央法規）
	13 注意事項	
	14 参照リンク	



必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【演習日程】 モニタリング演習②
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	演習②個別支援計画の実施状況の把握（モニタリング） 及び記録方法 講義②サービス提供〔支援提供〕のプロセス 講義⑤個別支援計画作成のポイントと作成手順
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	95分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング情報を活用し、中間評価記録を作成する手順を理解することができる</li> <li>・モニタリング～修正プランの作成の流れを体験することで、サービスの連続性について理解する</li> <li>・ニーズアセスメントに基づいて、個別支援計画の原案作成を進めることができる</li> </ul>
○	8 教科の概要	事例に基づき、与えられたモニタリング情報をもとに、一定の評価の視点を用いて、中間評価を行い、記録を作成します。 モニタリング結果に基づいて、修正計画原案を個人で作成します。
○	9 授業方法	演習と講義
○	10 授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価記録作成演習（40分）</li> <li>・評価結果活用演習（55分）</li> </ul>
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』（中央法規）
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【演習日程】 プランニング演習③
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	演習①個別支援計画の作成 演習②個別支援計画の実施状況の把握（モニタリング） 及び記録方法
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	日置真世
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	70分
○	7 到達目標	・モニタリング～修正プランの作成の流れを体験することで、サービスの連続性について理解する ・計画作成のポイントについて、再確認し、理解を深める ・サービス提供のプロセス全体像を理解し、現場に持ち帰ることができる
○	8 教科の概要	事例に基づき、モニタリング後の修正個別支援計画の原案を完成させます。 それぞれの計画原案を見せ合い、サービス提供全体について、演習を振り返ります。 現場に持ち帰るための学びを整理し、これまでの現場経験も活かしながら、言語化します。
○	9 授業方法	演習
○	10 授業計画	・修正計画共有演習（35分） ・まとめ演習（35分）
	11 準備学習	特になし
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』（中央法規）
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【事後講義日程】 演習の振り返り①
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義①サービス提供〔支援提供〕の基本的な考え方 講義②サービス提供〔支援提供〕のプロセス 講義③サービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕と個別支援計画の関係 講義④サービス提供〔支援提供〕における利用者主体のアセスメント
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	明河さち、金子志、河内哲也、木田祥平、佐々木浩治、佐藤忠峰、佐藤直樹、林範行、日置真世、増井滋美
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	100分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本人主体の重要性を理解する</li> <li>・ サービス提供〔支援提供〕の基本理念を理解する</li> <li>・ サービス提供の一連のプロセスを理解する</li> <li>・ チーム支援や連携の必要性について理解する</li> <li>・ サービス等利用計画（障害児支援利用計画）と相談支援専門員の連携とサービス等利用計画（障害児支援利用計画）と個別支援計画の連動性について理解をする</li> <li>・ サービスごとのアセスメントのポイントを理解することができる</li> <li>・ 分野やサービスによる違いとともに、普遍性について理解する</li> </ul>
○	8 教科の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例を用いた演習で学んだ本人中心について当事者の声から再確認します。</li> <li>・ 各サービスのアセスメント視点、連携、プロセス管理の視点について、実践者から聞くことにより理解を深めます。</li> </ul>
○	9 授業方法	講義（eラーニング）
○	10 授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後期講義の趣旨説明（10分）</li> <li>・ 児童期の支援提供の視点を本人とともに検討する（45分）</li> <li>・ 成人期のサービス提供の視点を本人とともに検討する（45分）</li> </ul>
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』（中央法規）
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	【事後講義日程】 演習の振り返り②
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	講義②サービス提供〔支援提供〕のプロセス 講義③サービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕と個別支援計画の関係 講義⑤個別支援計画作成のポイントと作成手順
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	明河さち、金子志、河内哲也、木田祥平、佐々木浩治、佐藤忠峰、佐藤直樹、林範行、日置真世、増井滋美
○	5 担当講師略歴	別紙 掲載
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービス提供の一連のプロセスを理解する</li> <li>・ チーム支援や連携の必要性について理解する</li> <li>・ サービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕と相談支援専門員の連携とサービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕と個別支援計画の連動性について理解をする</li> <li>・ 個別支援計画の法的根拠を理解する</li> <li>・ 個別支援計画の趣旨と手順を理解する</li> </ul>
○	8 教科の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改めてサービス提供〔支援提供〕のプロセスを演習で学んだことを思い出しながら再確認します。</li> <li>・ 個別支援計画の法的根拠を理解し、現場に活用できる計画作成の方法を定着させます。</li> </ul>
○	9 授業方法	講義（eラーニング）
○	10 授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービス提供〔支援提供〕のプロセスのまとめ（30分）</li> <li>・ 個別支援計画作成の方法とポイントまとめ（30分）</li> </ul>
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	『障がいのある人への本人主体支援実践テキスト』（中央法規）
	13 注意事項	
	14 参照リンク	